

この情報は、山武農業事務所のホームページでも公開しています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/sanbu/gyoumu/gijutsujohou.html>

稲作農家 各位

# 山武稲作情報 第5報(2017年7月13日発行)

山武農業事務所 改良普及課

電話 0475-54-0226

FAX 0475-52-7914

## 山武地域の生育状況

早生品種は出穂期を迎えています。ほ場ごとに差はありますが、例年より出穂が早いほ場が見られます。一方、コシヒカリの出穂は4月下旬移植で7月中旬～下旬を予測しています。また、今年はカスミカメムシ類の発生が例年よりやや多いと予想されています（農林総合研究センター病害虫発生予報より）ので、出穂前の除草と薬剤防除による防除をお願いします。

### 参考 生育調査ほの調査結果

【主食用米】 平年値は過去10年間（東金市コシヒカリは10年間、ふさのモチは7年間）の平均値。

品種	場所	年	移植日	幼穂形成期	出穂期
ふさおとめ	山武市 (白幡)	29	4/26	6/20	7/13
		28	4/30	6/20	7/15
		平年値	4/28	6/19	7/13
ふさこがね	山武市 (成東)	29	4/25	6/15	7/10
		28	4/26	6/18	7/12
		平年値	4/30	6/23	7/17
コシヒカリ	東金市 (幸田 )	29	4/28	6/28	(7/22)
		28	4/22	6/24	7/19
		平年値	4/23	6/26	7/21
コシヒカリ	山武市 (成東)	29	4/25	6/23	(7/14)
		28	4/26	6/24	7/20
		平年値	4/30	6/28	7/24
ふさのモチ	山武市 (成東)	29	5/10	6/30	(7/26)
		28	5/10	6/30	7/26
		平年値	5/9	7/3	7/27

今年度からコシヒカリのほ場が東金市北之幸谷から東金市幸田に変更となりました。

### 【飼料用米】

品種	場所	年	移植日	幼穂形成期	出穂期
アキヒカリ	山武市	29	4/26	6/13	7/8
夢あおば	山武市	29	5/14	6/25	(7/20)

幼穂形成期は幼穂長 1mm 以上の稲が80%以上となった日。出穂期はほ場の 40~50%が出穂した日。出穂期欄の ( ) は今年度の推定日。

### 郵便で配信している方へお願い

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたは FAX へ切り替えを進めています。電子メール・FAX をお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 水鳥 k.mztr@pref.chiba.lg.jp、0475-54-0226（電話）

次回の情報は7月28日（金）に発行する予定です。

## ◆ カメムシの防除について

等級落ちの原因となるカメムシ類の吸汁による斑点米は、特に、周囲のほ場と出穂時期が異なるほ場で、集中的に被害が出やすいため気を付けましょう。

### カメムシ類防除の適期

#### ① 穂揃期（8～9割の穂が出たころ）

⇒周辺の雑草地等から飛来してきた成虫を防除します。

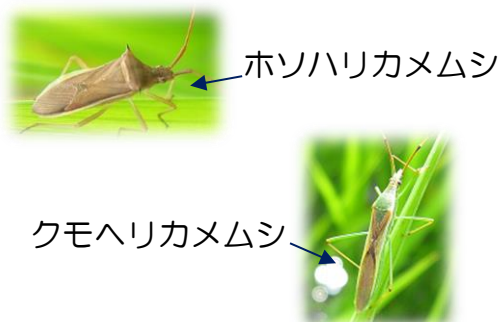
この時期に穂を加害されると、不稔やしいなが発生し、減収の要因になります。

#### ② 出穂15日後頃（乳熟期のころ）

⇒穂揃期に飛来した大型カメムシ類の幼虫が穂を加害するのを防除します。

乳熟期以降に穂を加害されると、斑点米が発生します。

※ 大型カメムシ類



### 斑点米カメムシ類の登録薬剤例

収穫7日前まで トレボン粉剤 DL、スタークル顆粒水溶剤、スタークル粉剤 DL、

収穫14日前まで MR.ジョーカーEW、トレボン MC

収穫21日前まで スミチオン乳剤、スミチオン粉剤3DL

※収穫期に近い時期での防除となりますので、薬剤の収穫前使用日数に注意してください。

## ◆ 水管理について（間断かんがいの実施）

梅雨明けから登熟期間は、稲作期間のなかで最も高温となります。この時期に長期間の湛水状態にすることは根の活力の低下を助長します。

水稻の根は出穂期に最も多くなり、以降は徐々に減少していくので、適切な水管理により根の活力を維持することが、登熟をよくするポイントとなります。

穂肥の時期以降は、水が田面全体にいきわたる程度に浅水で管理し、定期的に灌漑します。

落水は出穂期から25日以降とします。

※ 出穂期は、ほ場の40～50%の茎で穂先の籾が葉鞘の先端から出たとき

（畦畔から見て全体的に穂が見えている時は出穂期から3～5日程度経過している場合が多いです。）